

学年	高校3年	教科	数学科	科目	数学Ⅲ	単位数	6
教科書名	数学Ⅲ (数研出版)		副教材名	サクシード数学Ⅲ+C (数研出版) 大学入学共通テスト実践問題集 数学Ⅰ+A プレノート 数学Ⅱ+B プレノート			
クラス・コース	中高一貫理系						

I. 目標

積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

II. 授業のねらい

5章 積分法 … さまざまな関数の積分公式を理解し、置換積分法・部分積分法の解法を身につけさせる。

6章 積分法の応用 … 定積分の意味や性質を理解させ、図形の面積・体積を求めることができるようにする。

III. 授業の進め方

1. 教科書を中心に、授業を展開する。また、応用力を身につけるため、原則すべての問題を扱う。必要に応じて、入試問題等も扱う。
2. 定期的に小テスト実施し、定着の度合いを図る。
3. 状況に応じて、問題集等の副教材を使用する。
4. 大学入試問題の過去問を授業に取り入れる。

IV. 学習上の留意点

1. 教科書、授業用ノート、問題集、問題集用ノートを必ず用意して授業に臨むこと。
2. 定期試験の返却後、間違えた問題を確認し、復習を必ず行うこと。
3. 提出物の期限は必ず守ること。

V. 定期試験 (試験時間 100 分)

教科書と問題集の内容を中心に、模試レベルの問題など幅広く出題する。

- 1 学期 中間試験：積分法
- 1 学期 期末試験：積分法の応用
- 2 学期 期末試験：数学入試対策演習

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	7章 積分法 1節 不定積分 2節 定積分	提出物 小テスト 定期試験	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの関数の不定積分の公式を理解する。 置換積分法, 部分積分法について理解する。 定積分の性質について理解する。 曲線で囲まれた図形の面積, 体積を求めることができるようになる。
	5			
	6	8章 積分法の応用		
	7			
二学期	9	数学入試対策演習 (ⅠA・ⅡB・ⅢCの内容)	提出物 小テスト 定期試験	<ul style="list-style-type: none"> 基本事項を確認し, 大学入学共通テスト対策実践問題集を通して, 問題の意図を理解できる。 大学入学共通テストを意識し, 時間配分を考えながら問題に取り組むことができる。 共通テスト過去問や模試における, 基本問題の解法を幅広く理解することができる。
	10			
	11			
	12			

※ シラバスの内容(時間や事項)については, 理解度やその他の都合により変更することもあります。